

(2006年9月14日)

元氣企業

長岡

—シリーズ第9回—

企業PROFILE

住所 〒940-2022
長岡市鉄工町
2-3-54

資本金 5000万円

従業員数 40人

岡部 福松社長

【事業の内容】

円筒研削盤、内面研削盤を中心とした高精度、高能率工作機械並びに特殊加工専用機の製造販売。超小型から中型、大型機種まで幅広く対応。

○創業間もない「岡部鉄工所」にとって、この博覧会は大きな刺激になりました。博覧会には、最新の機械が多数出品されています。なかでも「英

式八尺旋盤」が、目を引きます。創業者である岡部福蔵さんは、強烈な刺激を受けました。なんと、手に入れよう、これを使いたい、これを見本にしても

っと高度な製品をつくらう。ものづくりへの情熱が福蔵さんの背中を押します。

想いは熱く、とどまることを知りません。博覧会終了後この「英式八尺旋盤」をどうしよう購入しました。価格は5000円でした。不足の2500円は長岡市からの融資です。

長岡は、新潟県の第2の都市として発展を続けています。今回の合併は、さらなる大長岡への飛躍につながるでしょう。

そこで、長岡の発展を担う地元の企業から、元氣な企業を、シリーズで紹介しようとするのがこの企画です。登場する企業は、読者の推薦や紹介で採り上げます。

○シリーズ第9回は、「丸栄機械製作所」です。当社の創業は、昭和6年(1931年)6月です。

株式会社丸栄機械製作所

【1】創業のころ

た。現社長岡部福蔵さんのおとうさんである岡部福蔵さんによって長岡市文治町(現在の春日町)での創業です。社名は岡

が流行し始めていました。スキーが我が国に伝わったのは、明治44年(1911年)にオーストリアのレルヒ少佐によると

「丸栄機械製作所」は、な

業界を苦しめます。政府は対策のため金本位制の停止を決め、財政支出を拡大しました。その一方で満州事変が勃発

にも、産業発展が第一と

新潟県ではこの年、9

水トンネルが開通しました。上越線の全線開通は大きな経済効果をもたらすはずと、長岡は好景気への期待が湧いていました。そこに「上越線全通記念博覧会」が開催されます。

部鉄工所でした。現社名になるのは昭和32年からです。

されています。その伝来の最初の地が本県の高田(現在の上越市)でした。

○当社創業の昭和6年

は、我が国にとって多難な年でした。金融恐慌が深刻化し、輸出の減少と国内購買力の低下は、産

業界を苦しめます。

政府は対策のため金本位制の停止を決め、財政支出を拡大しました。その一方で満州事変が勃発

にも、産業発展が第一と

○最初の仕事は、スウェーデン式スキーの金具製造でした。当時はスキー

そのための金具製造

○当社創業の昭和6年

は、我が国にとって多難な年でした。金融恐慌が深刻化し、輸出の減少と国内購買力の低下は、産

業界を苦しめます。

政府は対策のため金本位制の停止を決め、財政支出を拡大しました。その一方で満州事変が勃発

にも、産業発展が第一と



本社工場

(つづく)
《シリーズ全5回・毎週木曜日連載》

(文)長岡新聞社編集顧問 新潟県経済雇用問題 研究所理事 長 松田章治